

6 豊かな言葉を身に付けよう

＜ 秋みつけをしよう ＞5歳 Ⅲ期

*健康な心と体 *言葉による伝え合い
*自然との関わり・生命尊重
*思考力の芽生え *豊かな感性と表現

ねらい ◎身の回りの環境の変化や事象に興味をもつ

○感じたことや体験したことを言葉で表現する

○秋みつけに出かける。

黄色い葉っぱやオレンジ色の葉っぱがあるよ

緑の葉っぱが赤くなっているよ



恐竜の手みたいな葉っぱもあったよ

△幼児の発見に共感し、他の幼児たちへも共感の輪を広げていく。

△紅葉、木の実、雲の形、虫の声など秋ならではの季節の特色に気付けるようにする。

▲葉っぱの色や形の違いに気付いている。

気付く

▲思いはあるが言葉で表現することが苦手な幼児もいる。

△体験したことや感じたことを伝え合う機会をつくり、自分の言葉で表現できるようにする。

△教師が寄り添って思いを引き出し、代弁することで言葉での表現につなげる。

▲図鑑等で新しく発見することを喜んでいる。

▲イメージにあうものを探したり、使ってみたりしている。

試す・工夫する

○種類ごとに分けることを楽しむ。

★図鑑や絵本を用意する。



○体験して感じたそれぞれの秋を言葉で表現する。

△自信をもって表現できるように、それぞれの発言を認めていく。

★もち帰った落ち葉や木の実を用いて遊ぶ場を用意しておく。

落ち葉でネックレスをつくったよ

干し柿がぶら下がっていたよ

干し柿って、もともとは柿やで



▲友だちのつくったものや発言を認めるなどやりとりを楽しんでいる。

△幼児たちの制作したものを飾る。

△つくったものを見合ったり、どうやってつくったのか伝え合う機会をもつ。

粘り強く取り組む・挑戦する

★円形にするなど幼児同士が顔を見せ合って話ができるようにする。

▲自分の感じたことや考えたことを自信をもって伝えられるようになった。

▲積極的に発言しようとする姿があった。

遊びの中の豊かな学び

- 身近な自然に興味をもち、実際に触れ、遊んだり調べたりすることで、季節の変わりを感じる
- 見つけたもの、感じたことなどを伝えるためにはどうすればよいのかを考え、絵や言葉で伝えようと工夫していた

評価の観点

- 思ったこと感じたことを伝えようとしているか
- 自分たちの力で達成すること、表現することの楽しさを感じることができているか
- 幼児たちと対話などを繰り返し、「こんなことがしてみたい」という気持ちを教師は引き出すことができているか